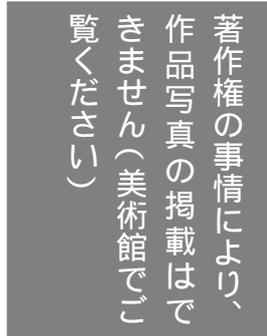
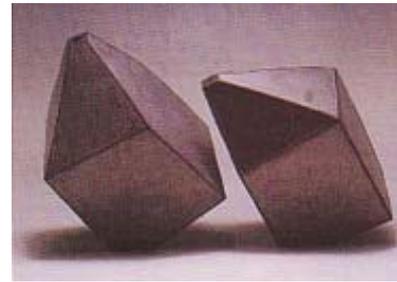




「神経質な鳥」 鈴木 治



「笑いの面」空 充秋



「いつも離陸の角度で」八木一夫

題材の目標

色や形をヒントにして題名を考えながら美術作品に親しむ。(低)
 好きな作品を模写して見たり描いたりすることに関心をもつ。(低)
 題名を当てたり模写したりしながら美術作品に親しみ、作品のよさやおもしろさを味わう。(中)

準備物 【教師】美術作品の複写，題名カード（作品名を書いたもの），ワークシートなど
 【児童】筆記用具，色鉛筆，パス類など

学習の展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準
鑑賞作品を見て題名を考え，意見を交流する。	思いつきにくい児童には，作品の中の色や形をヒントにして考えるようにさせる。どうしてそう考えたのかを説明させたり補足したりして，作品を味わわせる。	
グループごとに鑑賞作品の題名を考える。	題名を選んだ理由などを発表させ，感じ方や見方を深める。また，よく考えている題名や面白い発想は評価していく。一人・グループ・全体など学級の実態に応じた形態を工夫し，楽しく想像できるようにする。	話したり，聞いたりして，自分の感じ方や見方を広げようとする。
自分の好きな作品を模写する。	似なくてもいいこと伝え安心させ，よく見て楽しく描くことが大切であることを知らせる。	作品のよさやおもしろさを表そうとする。
まとめ		

題材の意図と指導のポイント

< 児童の発達段階との関連 >

この時期の児童は、クイズやなぞなぞが大
好きで授業に取り入れることはとても効
果的です。また、学級の実態に合わせてグ
ループで競いながら考えさせたり、ワーク
シートに記述させ全問正解にはシールを
貼るなどして楽しむ工夫をしましょう。

< 鑑賞の視点 >

作品の題名を考えるを通して、作品を

より詳しく見たり想像を広げたりするこ
とができます。児童のよい思い付きやよい
目の付け所など指導者が見落とさないよ
うにしましょう。

< 指導の工夫及び配慮 >

学習の展開例として鑑賞を深めるため
に模写を入れていますが、この活動
だけでも楽しく鑑賞活動ができます。
模写は、本物に似せて描くことより、児童
が自分の好きな作品を楽しく描いている
ことを大切にしましょう。

鑑賞作品例

鑑賞作品の資料は、「児童用鑑賞ガイド」(美術館ホームページ)に
載っている作品もありますのでご活用ください。

作品、作品数は学年・学級の実態に合わせて選びましょう。

作品名(制作年)	分野別	作者名【生存年】
わら けいこ 笑いの稽古 (1974年)	工芸 (陶磁器)	くまくらじゅんきち 熊倉順吉 【1920～1985年】
はなぞの むし 花園の虫 (1941年)	油彩画	あいみつ 靄光 【1907～1946年】
はちのじ え 八字のある絵 (1953年)	油彩画	みうら ろう 三浦 芳 【1928～1966年】
あり かんさつ 蟻の観察 (1979年)	版画	よしはらひでお 吉原英雄 【1931年～】
ひなた (1955年)	日本画	わだかせつじ 和高節二 【1898～1990年】
くも かえる 雲になった蛙 (1975年)	彫刻	あくたがわ ひさし 芥川 永 【1915～1998年】
わら めん 笑いの面 (1976年)	版画	そら みつあき 空 充秋 【1933年～】
しんけいしつ とり 神経質な鳥 (1975年)	工芸 (陶磁器)	すずき おさむ 鈴木 治 【1926～2001年】
おんがくか がくふ ある音楽家のための楽譜 (1924年)	水彩画	パウル・クレー 【1879～1940年】
りりく かくだ いつも離陸の角度で (1977年)	工芸 (陶磁器)	やぎ かずお 八木一夫 【1918～1979年】